

 **PGM 世界ジュニアゴルフ選手権  
日本代表選抜大会**

**東日本決勝大会 最終日 結果 (茨城)**

**結果のお知らせ**

**<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 最終日>**

- ◇2016年4月24日(日) 天候:雨のち晴れ
- ◇茨城・美浦GC (15-17歳の部男子 6990ヤードほかカテゴリー別)
- ◇出場163人

**<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 最終日 概況>**

15-17歳の部男子は、五十嵐瑠亜、大澤優(ともに新潟・開志国際高2年)の学校寮同室コンビが、IMGA世界ジュニアゴルフ選手権(7月12~15日、米サンディエゴ)日本代表となった。五十嵐は通算3オーバー-147で優勝。2人目の代表は5オーバーで並んだ大澤と阪根竜之介(東京・国士舘高3年)のプレーオフとなり、1ホール目でパーをセーブした大澤に決まった。同女子は河野杏奈(千葉・麗澤高2年)が前日9位から逆転し、通算8オーバー-152で1位、山路晶(宮城・東北高3年)が通算10オーバーで前日5位から2人目の代表に食い込んだ。13-14歳の部男子は昨年の世界ジュニア同部門代表の栗原悠宇(埼玉・藤中3年)と、世界ジュニア9-10歳の部で代表経験のある小林大河(東京・東金町中1年)が通算5オーバー-149で並んでともに日本代表入りし、順位を決めるプレーオフで栗原1位、小林2位となった。同女子では西郷真央(千葉・麗澤中3年)が通算7オーバー-151で1位、郡山瞳(宮城・寺岡中3年)が通算10オーバーの2位で日本代表となった。

IMGA世界ジュニアゴルフ選手権日本代表は以下の通り。

▽15-17歳の部男子

【1位】五十嵐瑠亜(新潟・開志国際高2年) = 147

【2位】大澤 優(新潟・開志国際高2年) = 149

▽同女子

【1位】河野杏奈(千葉・麗澤高2年) = 152 【2位】山路 晶(宮城・東北高3年) = 154

▽13-14歳の部男子

【1位】栗原悠宇(埼玉・藤中3年) = 149 【2位】小林大河(東京・東金町中1年) = 149

▽同女子

【1位】西郷真央(千葉・麗澤中3年) = 151 【2位】郡山 瞳(宮城・寺岡中3年) = 154

▽11-12歳の部男子

【1位】北添海翔(奈良・伏見中1年) = 152

▽同女子

【1位】花田華梨(栃木・宝木中1年) = 148

▽9-10歳の部男子

【1位】池 由哉(新潟・根岸小5年) = 159

▽同女子

【1位】栗田怜奈（千葉・小栗原小5年）＝162

▽7—8歳の部男子

【1位】西山陽斗（北海道・開西小3年）＝171

▽同女子

【1位】瀬谷里美（埼玉・西町小3年）＝174

※同スコアはプレーオフによる

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 最終日 ハイライト1 >

◇15—17歳の部男子◇最終日◇4月24日◇茨城・美浦GC（6990ヤード、パー72）

五十嵐瑠亜と大澤優の新潟・開志国際高2年生コンビが日本代表入りした。2位からスタートした五十嵐は75にまとめ、通算3オーバー147で1位。大澤は阪根竜之介（東京・国士舘高3年）と5オーバーで並んで代表2人目を争うプレーオフを行った。五十嵐も応援に行った1ホール目（10番）で、左の林に打ち込んだ阪根がボギーにしたのに対し、大澤は1メートルのパーパットを沈めて代表に滑り込んだ。学校寮でも同室の2人はハイタッチで喜んだ。五十嵐は「日本の国旗を背負って戦うことが夢の1つでした。寮で同室の優と一緒にいけるのは最高です」と笑顔を見せた。大澤は「めっちゃうれしいです。一緒に世界に行ったらすごいねって、前夜話した。（前日3位で）ワンチャンスあるとは思っていましたが」と顔を紅潮させた。

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 最終日 ハイライト2 >

◇15—17歳の部女子◇最終日◇4月24日◇茨城・美浦GC（6330ヤード、パー72）

河野杏奈（千葉・麗澤高2年）が大逆転で3年ぶりのIMG A世界ジュニアゴルフ選手権日本代表になった。第1日に78をたたいて9位と出遅れたが、この日は雨と風に見舞われた前半を36で折り返した時点で、上位が崩れてトップに並んだ。後半は「17、18番連続ボギーで上がってだめだと思った」というが、後続も伸ばせず、通算8オーバー152で1位となった。2013年に13—14歳の部で出場したが16位と不本意な結果に終わった。「どうしてもまた世界ジュニアに出たかった」と思っていたが、舞台に戻るまで3年かかった。「ホッとしました。緊張して（折り返し休憩の）昼ごはんは半分しか食べられなかった」といい、1位と聞いた瞬間はぼう然とした表情に。「世界ジュニアでは、この部門はうまい日本選手がたくさん出るので、その中で1位になれば世界一になれるかもしれない」と、目を輝かせた。

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東日本決勝 最終日 ハイライト3 >

◇13—14歳の部男子◇最終日◇4月24日◇茨城・美浦GC（6990ヤード、パー72）

昨年のIMG A世界ジュニアゴルフ選手権の同部門代表だった栗原悠宇（埼玉・藤中3年）が、代表経験者の小林大河（東京・東金町中1年）をプレーオフで破って1位となった。5オーバー149で並び、日本代表をともに決めた後、順位決定のプレーオフではパーをセーブした栗原に軍配が上がった。栗原は「調子が良くないわりにスコアをまとめられた」と、2年連続代表入りに笑顔を見せた。初出場の昨年は69位に終わった。「グリーン周り、ラフの芝が日本と違って引っかけた」と振り返る。「コースは大体分かっているので、ショートアイアンの距離感をしっかり練習していく。今年は優勝を狙います」と、リベンジを誓った。





写真： 上左／五十嵐瑠亜（15-17歳の部男子）、上右／大澤 優（15-17歳の部男子）、  
下左／河野杏奈（15-17歳の部女子）、下右／栗原悠宇（13-14歳の部女子）、  
写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6